

今年度から、県教育委員会では、特別支援学校高等部生徒が身に付けた知識、技能、態度等を一定の基準により評価し認定することで、働く意欲の向上と就労の促進を目指し、「鳥取県特別支援学校技能検定」をスタートさせました。

今年度は平成26年12月16日(火)、県立琴の浦高等特別支援学校を会場に、清掃部門を実施しました。総合的な技能が求められるマスター検定(床及び机上清掃)には13名、基本的な技能が求められるチャレンジ検定(床清掃)には17名が挑戦しました。

会場の張り詰めた空気の中、しっかりした挨拶、てきぱきとした動き、たくさんの清掃工程の確実さと丁寧さなど、普段の学習で身に付けた力を十分に発揮する生徒たちの姿は感動的でした。清掃の技能も充分身に付いており、マスター検定は全員が1級と2級に認定されるレベルの高さ

挑戦

鳥取県特別支援学校 技能検定開催!

磨かれた心と技術 自分の力を試せ!

でした。見学に来られた企業の皆様からも、「これだけ緊張する環境でしっかりできていてすごい。」「レベルが高くて正直驚いた。」といった感嘆の声が上がっていました。

閉会式で級の発表があった瞬間、「やった!」とつぶやく生徒、友だちとハイタッチする生徒、それぞれの姿で喜びと充実感を表していました。

来年度も新種目の検討を進めながら、生徒が身に付けた力を試す挑戦の場として、技能検定を実施する予定です。

問合せ先 県教委特別支援教育課 電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

ノーメディアにチャレンジ!

北栄町立北条中学校

ノーメディアの推進を柱に、情報モラルやメディアとの上手な付き合い方を親子で見直しました。生徒自身がアンケートを実施してメディアに関する体験や意見をまとめるなど、生徒・保護者のメディアに係る意識を高めました。



全校集会で調査結果を発表

ノーメディアデーで家族の会話を増やします

米子市立福生東小学校

標語を募集して優秀作品を表彰しました。昨年度の最優秀作品は「つつい見ちゃうテレビ病治す薬は家族の会話」。家族の会話を増やして心豊かな子どもに育てほしいと願っています。

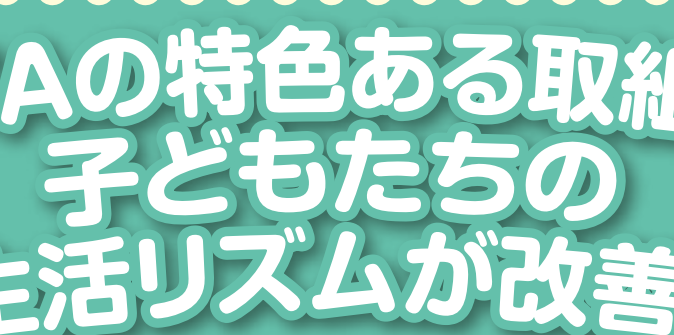
昨年度最優秀作品

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7521 FAX 0857(26)8170

オリジナル缶バッジと親子カルタで生活習慣を見直しました

八頭町立隼小学校

年3回の生活習慣づくり週間の優秀者に、保護者からオリジナル缶バッジを授与しています。また、生活習慣に関わる題材をテーマに親子でカルタを作成し、親子で楽しく生活習慣を見直すことができました。



作品(カルタ)

PTAの特色ある取組で子どもたちの生活リズムが改善!

日野町立日野中学校

県内小中学校のPTAでは、子どもたちの学力向上の基礎となる基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図るため、子どもたちの実態や課題に応じてアイデアを出し合い、特色ある活動に取り組んでいます。ここでは、11月24日の鳥取県PTA研究大会で報告された各PTAの活動をご紹介します。

家庭学習の定着に向けて取り組みました

1日120分以上の家庭学習の定着と朝食をきちんと取ることを目指して学校の指導とPTAの活動をリンクさせました。茶話会では話題に取り上げ、情報交換を行い、啓発活動に努めました。

のぼりで啓発

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7521 FAX 0857(26)8170

食の大切さを考えました

南部町立南部中学校

おいしさや栄養バランスを考えた「ひとりで作れるお弁当・朝ごはんのレシピ」を募集し、レシピ集を作成しました。その他にもエプロンシアター^(*)を実施するなど食育活動に取り組み、子どもたちが食の大切さを考える機会になりました。

※エプロンシアターとは…胸当て式エプロンを舞台に見立て、ポケットから取り出す人形を使っておはなしをするもの。

生活リズム向上は朝のあいさつの充実から

琴浦町立聖郷小学校

毎月1週間の強化週間と標語カレンダー作成で「夜から朝までの生活リズムの見直し」を図りました。児童のあいさつは大きく明るくなり、保護者も子どもと向き合い生活を振り返る機会になりました。

表彰の様子

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7935 FAX 0857(26)8170

小中連携の取組をすすめています!

県内の各学校では、義務教育9年間の学びや育ちを見通しながら、小中学校の連携を密にした教育活動を展開しています。鳥取県教育委員会では、それらのさらなるステップアップをめざして中学校区での取組を支援しています。ここでは学力向上の小中連携の取組を紹介します。

小中連携で取り組む授業改革ステップアップ事業

この事業は、小中学校9年間を通じた学力向上を目的としています。中学校区ごとに年度初めに現状分析(Research)を行い、計画(Plan)・実施(Do)・評価(Check)・改善(Action)プランを明確にして授業改革に取り組みます。現在、県内で20の中中学校区と3つの教育研究団体が取組を進めているところで、成果を全県に普及させていく予定です。

同じ中学校区内の児童生徒の学力向上のために、小学校と中学校の先生が互いの授業を見て話し合いをしたり、中学校区内のすべての小中学校で同じ学習のきまりを作ったりして小中連携を進めています。中学校3年生のゴールの姿を見すえて日々取り組んでいます。



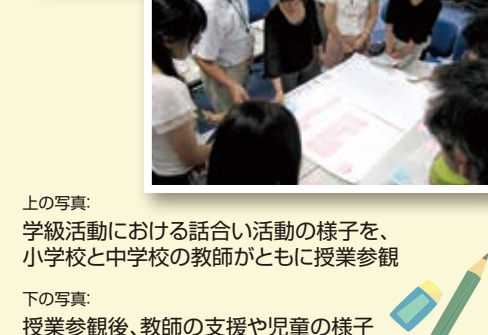
中学校理科の実験の様子を興味深そうに参観



小学校で、小学校と中学校の教師によるチームティーチング(小学校授業)



上の写真: 学級活動における話し合い活動の様子を、小学校と中学校の教師がともに授業参観



下の写真: 授業参観後、教師の支援や児童の様子について協議

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7935 FAX 0857(26)8170

ICTを活用したアクティブ・ラーニング型授業への取組

鳥取西高校

県立高校では、生徒の主体的な学びを促す「アクティブ・ラーニング^(*)型授業」への改革に取り組んでいますが、鳥取西高校では、この学びに、タブレットなどのICT^(**)機器を効果的に活用する研究にも取り組んでいます。

昨年10月30日には研究会を開催し、タブレットを活用した生物や物理、英語の授業を公開しました。

生物の授業は、「免疫」がテーマ。画像や文字を使ってまとめた自分の意見を、タブレットに表示させ、他のメンバーに見せながらプレゼンテーションをしたり、意見のやりとりをしたりしながら、「免疫」に関する問題にチームとして取り組み、最後はそれぞれのチームで作上げた解を、皆の前で発表しました。

現代社会は、少子高齢化や食料・水・温暖化…など様々な問題をかかえています。鳥取西高校では、このような問題にチームとして協調して取り組み、新しい解や対応策を創造してゆく人材の育成を目指して、先進的な授業にも果敢に挑んでいます。

*1…アクティブ・ラーニングとは…従来の一斉講義型の授業スタイルとは異なり、グループやペア活動などを通して生徒どうしが主体的に学び合う学習スタイル。
*2…ICTとは…Information and Communication Technology(情報通信技術)コンピュータやインターネット技術の総称。

問合せ先 県教委高等学校課高校教育企画室 電話 0857(26)7517 FAX 0857(26)0408